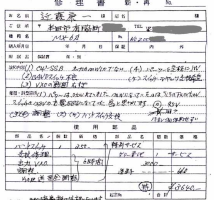


参加局のコメント

「ミズホ製品でQRVしよう。JA1AMH 追悼 QSO WEEK」への多くの方の参加(開催目的へのご理解)ありがとうございました。そしてJA1AMH高田OMこれまでありがとうございました。 担当: #696 JE1ECF 斎藤 毅

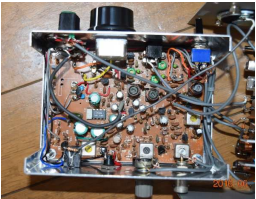
	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
1	JA2BCQ	P-7DX/0.5W	7MHz CW:1		20年まえ、1996年にMIZUHO P-7DX/0.6W で、カリフォルニアとのQSOに成功し 1000 マイル/W賞を得たのは、私のハムライフの珠玉の思い出になっています。 その同じP-7DXがまだ健在であることを証明できたのも、うれしい追悼QSOになりました。QRPpの信号を、辛抱強くとってくださった愛媛・八幡浜のJH5NUW局 に、深く感謝します。
2	JE1XXK	MX-3.5S/2W	3.5MHz CW:1		この度は追悼QSOに参加しました。ピコMX-3.5S 2W アンテナ20m水平ダイポール 直接はお会いしませんが栃木のARDF仲間が高田社長には製作について丁寧な説明を受けていたと話しています、添付のとおりARDF受信機では大変お世話になりましたので参加しました。 はじめまして栃木県下野市に住む保坂と申します、ミズホについてはピコしか知りませんでしたがARDF競技大会に参加するようになりミズホの受信機では大変お世話になりました。 お陰様でARDF地区大会・全国大会・アジア大会・世界大会と妻のJG1HAP参加してまいりました、最後にはアイ・テックの千葉さんの製作の受信機に変わりましたがそれまで十分活躍させていただきました 過去の参加した世界大会 スロバキア・チェコ・韓国・ブルガリア・クロアチア・カザフスタン等に参加して団体でXXKは韓国大会でHAPはクロアチアで夫婦それぞれ銀メダルを受賞しました 参加したアジア大会 オーストラリア・モンゴル・日本(新潟・群馬)等に参加し入賞しました 今年9月にブルガリアで開催されるARDF世界大会に参加する予定です 添付QSLカードは過去の各世界大会参加記念カードを作りました
3	JS2VVH	MX-6Z/250mW	50MHz SSB:7		私が開局したのは1979年、私が中学生の時でした。自分のおこずかいを貯めて買えそうな価格であったミズホの製品には一通り目を通していましたが、当時の私は周波数表示がデジタルで表示されるリグメーカー製のリグに目を奪われており、手作り感の強いミズホの製品にはあまり魅力を感じていませんでした。今思うと本当にものを知らない子供でした。 しかし、一時無線を離れ、再開局してからはミズホの製品の素晴らしさに目覚めてしまいました。特に印象的だったのは、MX21SIに短縮のホイップアンテナで2エリアの道端から5エリアの局とQSOできたことです。その後、オークションでMX-6S、MX-6Zを購入し、今でも時々運用しています。中でもMX-6Zは最も気に入りのリグです。006Pの電池で数時間QSOできますし、これで山の上からCQを出すとかなり呼ばれます。また、ポケットダイポールも素晴らしい商品の一つだと思います。これくらいのもものは自作で対応できそうですが、これほどコンパクトにまとめるのはなかなか難しいとされます。50MHzの移動運用でどんなアンテナを持って行こうと必ず予備アンテナとして私はザックに入れていきます。 高田OMがお亡くなりになったことは大変残念ですが、アマチュア無線の楽しさを提供していただいたこと感謝し、ミズホの製品をこれからも大切に使い続けていきたいです。 今回は、地元熱海市の山の上から、MX-6Zに006Pの乾電池を入れて、ポケットダイポールで運用し、短い時間で7局にお相手いただきました。QSOの中で高田OMのお話をするとほとんどの方が高田OMのコールサインを直ぐに言われます。本当に偉大な方であったことを改めて感じました。

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
4	JH2HTQ	TX:MIZUHO QP7 WID VFO 7D RX:TRIO 599	7MHz CW:2		開催期間の、2016.06.13 0000JST - 06.19 2400JST は、QRP にとって CONDX が良くなく、1W-QRP の SIGS は、Reverse Beacon Network の何処にも感知される事も無く、畑仕事もあるので、QSO の機会がありませんでしたが、最終日の6月19日(日曜日の午前中)に、2局と交信できました。 中でも、下記の交信は、、、 当局が、TX is MIZUHO QP7 WID VFO 7D. RX is TRIO 599 京都・右京区のOMが、Elecraft K1 QRP お互いが、縦ぶり電鍵と分かる打ち方で、QRSで、平文に近い、かなり丁寧なラバースタンプQSOをして、全てコピーできて、最後にお互いに、72 を送り交信を終えました。 「追悼 QSO WEEK」に相応しい、記憶に残る交信となりました。
5	J A 1 M O R	DC-7X/500mW	7MHz CW:8		送信出力 約500mW(調整するもこれ以上は出ず) 以下改造点 ①VFO発振周波数を7.000~7.030に(インターネットの改造記事を拝借) ②夜間の放送波対策としてATTを撤去し簡易型水晶フィルタ(X-tal 7.015)を挿入 ③混信対策でCal kitのAF FIL+LM386 AmpをスピーカーのIN側に挿入 使用アンテナ: 12mH 3.5 7 2Band 逆V ANT 電源: 単3 ニッカドBATT 10本(12V) 電鍵: CQ誌付録基盤使用のエレキーと自作のパドル(以前HAMフェアでキットを購入) 運用場所: JCC 1108(常置場所) ひさしぶりに受信がダイレクトコンバージョンのDC-7Xを使用しましたが意外と交信を楽しめました。
6	JG1SMD	MX-21S/2W	21MHz SSB:3	 	私の所有するミズホ製品はQP-7とピコ21(MX21S)の2つですが、自宅では7MHzのちゃんとしたアンテナが張れませんので、今回は21MHzにQRVしました。 アンテナはマンションのベランダに建てた逆V型ダイポールで、普段はこれを使い18MHz/21MHzに出ています。平日QRVできるのは「帰宅したのちの夜のみ」ですので、21MHzではなかなか聞こえてきません。しかし土曜日ともコンディションが芳しくなくノイズのみを聞いて断念。最終の日曜日には朝からWatchを開始し、なかなかよいコンディション、国内局のQSOがそこかしこに聞こえていました。 これなら1DAY-AJD達成かとも思いましたが、これはQRP局の悲しいところ、競合すると呼び負けてしまいます。結局午前中30分ほどの運用で3局と交信、午後は何局も韓国局がよく聞こえコールしましたが 残念ながら...。 ピコ21は年に1回くらいしか使っておりませんが、久しぶりに火を入れてやると「きれいな変調音ですよ」とのレポートをいただきホッとしました。CQに對し応答すると競っている局がなければ大体一回でコールバックがありました。

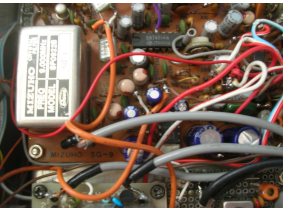
	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
7	JJ2PEI	MX-6S／1W	50MHz CW:1 SSB:2		仕舞い込んでいたMIZUHOのリグ達を、久しぶりに出して火を入れました。 周波数は、デジタル直読やゼネカパではなく、VXOのゼロインやQRHの躲し方など、コツと工夫で通信の原点に戻って楽しみました。 7MHzでは、「2way MIZUHO」QSOが出来ました。 この機会に、最近のリグと聴き比べてみましたが、改めてピコ達の感度の良さを実感しました。 ピコが現役当時に、QRPの面白さに気付いていれば、無線との付き合い方が違っていたと思います。 4年ほど前に、高田OMIにピコ6をこっそり修理して頂いた際の記録(直筆)が見つかりました。 OMと懇意の方の紹介でしたが、頼まれたら断れない優しさを感じました。 今回のQSOで「変調に問題はないです。まだまだ使えますね」とのレポートを貰い、嬉しかったです。 今後は、高田OMIにヘルプすることも叶いませんが、これからは自分で手を入れて、高田OMの想いを繋いでいきたいです。
8		MX-7S／2W	7MHz CW:2		QSOできたのは、6mと40mでしたが、他のリグも火を入れましたので、仲間に加えました。高田OMの直筆も添付しておきます(個人情報など伏せました)今となっては貴重な資料です。
9	JA4DJN	MX-14S／2W	14MHz SSB:2		先方の周波数にゼロインするのが大変で先方がQSOしている間に合わせるのですが、いささか、大目に見ていただいてQSOで来たんだろうと思います。QSOしていただいた方に感謝です。
10	JK1BMK	MK610／1W	50MHz AM:1	 左より ミズホFBジュニアミニ(※) MK-610 出力1W AM-6X 出力250mW ※スケールダウンの自作機 50メガのAM TRX、終段は電池管の3S4、出力100mW	ミズホの製品はじめ、高田さんの初心者向け記事など、大変お世話になっております。今回、いろいろと思い出しながらCQを出しておりました。 一週間の設定期間においては終了前日まで空振りが続き、QSOが出来ませんでした。 最終日に大山(伊勢原市)の中腹(350mほど)に移動し、ようやく1局とコンタクト出来ました。 なお、当方のMK610は、周波数範囲が本来50～52MHzのところ、手を加えて50.4～50.8MHzのAM向けにしております。少しQRHが見られますがRITの範囲ですのでガマンしています。 写真(電池は大きさ比較用です) 左よりミズホFBジュニアミニ(※)、MK-610 出力1W、AM-6X 出力250mW ※スケールダウンの自作機 50メガのAM TRX、終段は電池管の3S4、出力100mW

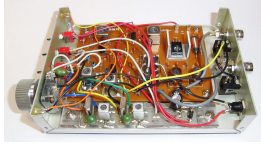
	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
11	JJ2DAL	MX-6S/1W	50MHz B:1 SS		この度、縁あって「JA1AMH 高田さんを送る会」に出席させて頂くことができました。生前に直接お会いする機会はありませんでしたが、ミズホ通信の機器、部品を種々使わせて頂いておりましたファンの一人として、このような機会を得て一緒に偲ばせて頂いたことに感謝しております。会の開催にあたり、ご尽力いただきましたメンバーの方々にお礼申し上げます。 「ミズホ製品でQRVしよう」につきましては、なんとか期間中に交信できればとがんばったのですが、仕事が終わって帰ってきてても、QRV可能な7Mhz、50MhzのQRPでは流石に相手もおらず苦戦しておりました。そうした中、1局のみですが、最低ラインの目標をなんとかクリアいたしました。 今まで、QRPクラブの会員とはいえ、なかなか思うような活動ができていませんでしたが、今回このような機会を得たことで、初心に返り、新たな気持ちで取り組んいきたいと思えます。
12	JK1TCV	7MHzCW: P-7DX/0.5W 50MHzSSB: MX-6S/1W	7MHz:4 MHz:1 50	 	7メガCWはP-7DX、50メガSSBはピコ6を使用しました。最終日は7メガのコンディションがあまり良くなかったため、厳しいQSOとなりましたが、コンディション次第では500mWでも楽しめますね。50メガはピコ6を引っ張り出して、QRV。ついでに専用のリニアアンプも動作確認ができました。ピコ6は山岳移動に使っていましたが、最近ではリニアも含め出番がなくなっていました。今年はピコ6も使ってあげようかと思います。それぞれ、古いものですが、まだ現役で使えますね。壊れないように大事に使っていきたいと思います
13	JR1CHU	3.5MHzSSB: MX-3.5S/2W 7MHzCW: TRX-100/2W 21MHzCW: RL-21/4W 50MHzSSB: MX-6S/1W	3.5MHz:4 7MHz:37 21MHz:6 50MHz:1		高田先生の追悼 QSO WEEKに参加させて頂きました。写真のリニアは使っていません。(但し13.8V→9V電源は使いました) またJ-Clusterに自己書き込みを3回やりましたが、17日の21MHzだけしか効果がありませんでした。？でもコメントを見て頂いた局は多数あったとおもいます。 TRX-100(1Xtalのラティスフィルタ耳調整を追加)、RL-21(オリジナルのダイレクトコンバージョン)受信が聖徳太子でLID OPIは苦勞/ご迷惑をお掛けしました。SRI また、ピコは両方とも電池の液漏れでした。スライドSWを外して洗いました。今回のQSO WEEKが無かつたらもっとヒドイ事になっていました。TKS 高田先生にはARDFの送受信機でも大変お世話になりました。有難う御座いました。ご冥福をお祈り申し上げます。

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
14	JL1IHE	MX-18S/2W MX-28S/2W	18MHz CW:2 SSB:1 28MHz CW:1 SSB:2	    	ピコとの出会いは、1982年頃に秋葉原で、MX-15のキットを買ったのが出会いでした。コネクターを同軸ケーブルに、ハンダ付けする経験だけしかない私でもキットで無線機が出来上がり感動しました。 その後、1989年に青年海外協力隊に参加して、アフリカのマラウイ共和国へ赴任が決まり、当時アマチュア無線を禁止していた国なので、無線機を持ち込むのに小型のMX-28Sを購入して入国しました。交渉の末、1990年にアマチュア無線が解禁となり、7Q7JAのコールサインが下りて、ピコ2WにDPアンテナでQRVが始まり、1月で1000QSOとDXCCも80エンティティーほど交信が出来ました。太陽黒点活動が活発な時期でしたので、よく飛びました。時代はバブル期で、大型リニアアンプが売れる時代に、『2WにDPアンテナの信号がJAで聞こえる。』交信ができた、QSLカードに添えられた手紙から『2WにDP ANTでも飛ぶんですね。』と感激が伝わる手紙を多数受け取りました。高田さんに、その当時から大変お世話になりご支援を頂きました。 この追悼 QSO では、マラウイでCW運用をした時のように、パネルにあるボタン電けんでモールスを打ちました。QSO WEEKを知ったのが、18日だったので、CONDXの良い時間帯と運用時間が重ならず、15mのMX-15 300mWのパワーではQSOが成立しませんでした。 数年前に故障したMX-18Sを特別に修理して頂き、その時の電話の音が心に残ってます。JA1AMH 高田さんの訃報を5月19日に知り心からご冥福を祈ります。 毎年6月17日のIARU Region Three Ham Radio QRP DAYにて、ピコでQSOを続けたいと思います。 余談ですが、マラウイでの任期が終わり、帰国途中ナミビアへ立ち寄り、V51DMの無線室を借りて、V51/7Q7JAで運用しました。V51DMの無線室の棚には、ピコ数台がロッドANT付きで並んでました。 マラウイ共和国で同じ頃に、他の青年海外協力隊の隊員3名が、MX-21Sを航空便で取り寄せて、DP アンテナで開局されました。 MX-18S 2W、MX-28S 2W、MX-15 300mW(15mは空振りで終わる。)
1980/90年代の「CQ HAM RADIO」誌に掲載されていたミズホ通信広告には「ご愛用者コーナー」があり、当時の加満OMの投稿レポートも掲載されていました。(担当者記載/CQ出版転載承諾済)					
ご愛用者コーナー マラウイから、ピコ28S(2W)でQRV! 7Q7JA 加満 由貴OM 今年の5月12日より、7Q7JAのコールサインを、マラウイ国政府より買得た貴社のピコ10 MX-28Sと、約9m高のダイポールアンテナで、BlantyreよりQRVしています。ここBlantyreは、海拔が約1200mで、私の家は丘の斜面に位置しており、ロケーションもFBだし、今度のサイクル22もFBなコンディションのようで、開局して約1ヶ月半でJAを中心に、約1500局もQSOする事が出来ました。ダイポールアンテナを、東西に張って上げている為に、EUとはあまりQSOできませんが、JAに対してはFBで、相手局はダイポールアンテナでも、559のレポートを買った時もありました。その他、JA側もQRP300mWの局や、2W局ともQSO出来ました。開局3日目です28MHz SSB、QRP、WACが出来ました。QSOしたカントリーを紹介すると、JA1-JAφ、ZS、V51、FR5、I、CE、SZ、LU、CX、ZP、90、UL、RA、YC、W、G、XE、HK、VK、EA、YU、PA、EA8、KP4、5B、9H、LZ、YV、OH、OK、SP、UWφ、T1、DL、7Q、PY、F、HH、AH3、ZS8M、UB、70、UI、PYφなどです。10W Amp PL-28Sを付けてからは、2WでほとんどJAとはQSO出来てしまったようで、あまりコールされません。しかし、ヨーロッパの局に対しては、FBに成ったようで、QRVするとバイルUPになります。それに、ピコはとてもFBな受信感度です。この調子なら、2W QRP & ダイポールアンテナでも、10mシングルバンドDXCC 100カントリーも可能ですね! ●はるばる、アフリカのマラウイからのレポートを有難うございます。そのほか、今月は掲載できませんでしたが、沢山のレポートを頂きました。読者の益々のご活躍をお祈りいたします。T.T. 左より ・7Q7JAのシャック ・岡上 ・岡上 右より ・7Q7JA 加満OMと役人。ライセンスを手 ・7Q7HM 溝口OMと役人。ライセンスを手 ・QSLカード					

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
15	JO7BTV	MX-6Z/250mW	50MHz:2		今般は「JA1AMH追悼QSO WEEK」の実施、誠に有難う御座いました。私も東京在住時代はミズホのVFO等を使った自作QRP機などで楽しんだものでした。 と言う事で、現在に至るまでQRP運用も併せて楽しんでいます。 QRPの運用時には、現在FT-817とKN-Q7A(14MHz:4W)をメインで楽しんでいます。今後は更にQRPPにも挑戦しようと、作っただけで殆どオンエアしていない自作の28MHzSSB(0.3W)やMX-6Zでも楽しんでみようと思っていますので、聞こえておりましたら宜しくお願い致します。
16	JA3HKR	MX-6S/1W MX-2F/2W	50MHz SSB:7 144MHz SSB:6		「ミズホ製品でQRVしよう。JA1AMH 追悼 QSO WEEK」に参加しました。ピコシリーズは大好きで、結局ほとんどのバンドを買い揃えたように思います。今回、このうちのMX-7S、MX-6S、MX-2Fの3台を取り出してきたのですが、HFのコンディションが悪いためMX-6SとMX-2Fで、次の3形態で運用しました。 ①自宅常置場所 ②近場のハイキングコースベンチに徒歩移動 ③近場の高台に車移動(雨天) アンテナは②以外はモバイルホイップ、②は当クラブ会報2014年1月号で紹介させていただいたロッドアンテナダイポールです。電源は内蔵乾電池と2.3Ahバッテリーです。結果は同一局との交信も含めて計13局でした。50MHzでは母島の移動局と、144MHzでは5エリアの移動局と交信できました。期待していた2 WAY MIZUHOは残念ながら実現しませんでした。 添付の写真は②のハイキングコースで撮ったものです。MX-2Fは一度電池の液漏れで故障し、スイッチなどの部品交換した経歴があります。MX-6Sはかなり長期間愛用していて、背中にM57735パワーモジュール使用10Wリニアアンプを背負わせています。(今回規定により不使用)。その他、このMX-6Sには自分仕様に次のような手をいれています。 1.VXOの可変範囲を倍に変更 2.三端子レギュレータを内蔵し12V入力可能 3.オペアンプで減電圧表示回路を作成し送信LEDで表示 4.マイク回路ゲイン調整半固定VRを内蔵し過変調を防止 5.VOL-SWがリュックのなかでONになってしまうことがあったので底面のSWもONIにしないと電源が入らないよう変更 などです。 MIZUHOのリグは素晴らしいと思います。例えばAGCひとつとってみても小型だからと手抜きせず本格的な設計がなされていると思います。高田OMどうもありがとうございました。 今回の企画を、追悼とは別に今後も継続的に開催されることを希望します。
17	JO1PQH	TX:CQTX-7/1.5W RX:RX-100	7MHzCW:2	  	高田OMのご冥福をお祈りします。 開局後、初めてのメーカー製品はミズホ通信MX-6(ピコ6Z)でした。今回は、送信部はCQTX-7(CQ出版社「短波CW送信機の実験」の基盤で作成、ファイナル2sc3422)、受信部はミズホ通信RX-100で組み立てたトランジバーでQRVしました。

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
18	JA8CXX	TX:CQTX-7改/1W RX:アルインコ DX-R8	7MHz CW:14		5年前に書店で「短波CW送信機の実験」(高田OM著 CQ出版社)という本に出会い、その本の付録の基板とミズホ通信で頒布されていたパーツキットを使って、7MHz CW 1WのQRP送信機を作り、四十数年ぶりに再開局しました。 高田OMはこの送信機にCQTX-7という型番を与えておられました。 その後、高田OMが送ってくださった資料等も参考にしてVXOを改良し、7,000～7,030kHzの可変幅にすることができました。 高田OMには感謝の気持ちでいっぱいです。 4年ぶりに電源を入れてみましたが、なんのトラブルもなく正常に動作し、追悼QSOイベントに参加することができました。
19	JK4HNN	MX-21S/2W	21MHz SSB:1		6月19日の最終日、朝から天気は今ひとつでしたので自宅のベランダGPでやりました。 リグはピコシリーズのMX7S、MX21S、MX6S、そしてCWトランシーバーキットP7DX、P21DXです。 午前中21MHzが開けていて、ピコMX21Sで栃木県の局とSSBで1局交信できました。 7MHz/CWで粘りましたが、コンディションが今ひとつだったようで、残念ながらからずりもせずでした。Eスポは出なかったようで50MHzは一日中NGでしたね。
20	JA1KJW	P-7DX/1W	7MHz CW:71		久しぶりにP-7DXを引っ張り出し1週間楽しみました。6月13日から17日朝までは自宅から午後からは山中湖へ出かけ2泊天気にも恵まれ1Wでもパイルを受け楽しめました。19日帰宅し自宅からP-7DXでALL ASIAN contestに参加 W、KH6が出来満足でした
21	JA4NUE	MX-7S/2W MX-6S/1W	7MHz CW:26 SSB:5 50MHz CW:1 SSB:5		コメント 使用設備 アンテナ 1、MX-7S BAND A: 7000～ 7025KHz BAND B: 7050～ 7075KHz 1、7MHz ロータリーDP(RN4DX) 23mH 2、MX-6S BAND A:50150～50200KHz BAND B:50200～50250KHz 2、50MHz 10エレ八木 21mH 3、CW-2S 中にはキャリブレーションのエレキーを内蔵 4、PF-1 MIZUHOのオーディオピークフィルターをケースに入れたもの 今回は呼ぶときに /QRPはつけませんでした。(SSBのQSO中にはリグの名称だったり、出力(W)はお話した) リグの整備もしないまま参加しました。特に7MHzのCWでは送受の周波数が少し違っていた様で、ご迷惑をおかけしました。 コンテスト以外では、最近最も多くQSOした1週間でした。(笑) QSOして頂いた各局 有難うございました。

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
22	JR8DAG	AM-6X/250mW	50MHz M:3 A		ピコ6AMで1,8エリアの3曲と交信できました。交信ありがとうございました。
23	JA1TAZ	MX-6S/1W	50MHz SSB:12	 	午前中と夕方から用事があり、午後の約1時間の参加でした。 標高の高い場所に移動しましたので12局と多くの局と交信できました。またピコ6同士の更新やQRP局との交信も出来て楽しい一日でした。 AM-6XやMX-2も持っていましたが時間の都合で運用できなかったのが残念でした。
24	JN1CCF	MX-6/250mW	50MHz CW:3		購入から30年以上経つMX-6でのCW QSOからアマチュア無線の楽しさを改めて感じる事ができました。
25	JH4EY/1	DC-701/2W	7MHz CW:4	 	高田OMとは同じ町田市に住んでいるので、しょっちゅうお邪魔し、お世話になりました。 特にARDFの受信機制作のノウハウはいろいろ勉強させていただきました。 ご冥福をお祈りします。
26	JG1ESW	自作SG-9使用 50MHz AM/200mW SSB/1W	50MHz AM:1 SSB:1	  	ミズホSG-9で製作した50MHzQRPTランシーバ (AM:200mW 、 SSB:1W) での運用ログを提出致します。 SG-9は1978年に購入したと記憶しています。 最初はなかなかうまくいきませんでしたが、改良に改良を重ね、 なんとか形になりました。 受信音がようやく満足できるようになったのは今年になってから で、38年も経ってしまいました。 高田OMとは面識がありませんでしたが、天国から応援して頂けたのかもしれない。 高田OMのご冥福をお祈りいたします。 by JG1ESW

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
27	JJφJKK	FX-6/1W	50MHz B:2 SS		このような企画を開催頂きましたことに感謝致します。 最終日のみの参戦ながら、無事2局さんと交信出来ました。 FX-6による運用は約10年ぶりでしたが、大変スリリングで楽しいひと時でした。 他にもピコシリーズを数機所有しておりますので、今後も労わりながら時々オンエアしたいと思います。 改めて素晴らしいピコシリーズを世に出して下さった、高田OMに感謝しますと共に、ご冥福をお祈り致します。
28	JN3DMJ	TX: 自作 2SC1957×1 (QP-21R:21MHz CW 1W) RX: FT-817ND	21MHz CW: 7	 	集計ありがとうございます。「QP-21R」と名付けた21MHz CW送信機(出力1W)を用いて期間中に7QSOしたのでログを提出いたします。 「QP-21R」は「QP-21」キットを高田OM著「短波CW送信機の実験」(CQ出版)付録実験基板(7MHzの実験用)に組んだもので、2種類の水素発振子を切り替えるVXOIに改造しています。 「QP-21R」はQSO数こそ200弱ですが、32のDXCCエンティティ(JA含む)と交信実績(遠くはUruguay)があります。 高田OMとは直接お会いしたことはありませんが、何度か電話でお話したことがあります。 OMに分けてもらったSSBフィルターは今でも21MHz SSBトランシーバの中で活躍しています。 著書「ゼロからつくるアマチュア無線局」や「やさしい電子工作教室」などは何度も何度も読み返しましたが、中でも単球式受信機0-V-0に興味を持って製作し、セラミックイヤホンで短波ラジオ、SSB、CWを聞いて、本の内容と同じ体験ができたことが思い出されます。 我々に多くの夢と感動を与えてくださった高田OMに改めて感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
29	JJ0OPV	MX-6S/1W	50MHz SSB:2	  	今回、QRPクラブの皆様が『ミズホ製品でQRVしよう。JA1AMH 追悼 QSO WEEK』を設定して頂いたお陰で、久しぶりにピコを持って山登りすることが出来ました。まずはお礼を申し述べます。 山でのQRVは、私にとって大きな楽しみの一つです。しかし、最近は簡単にQSO出来る2mや430MhzのFMばかりで、50Mhzのダイポールアンテナを設置するのさえ億劫になっていました。FMではなくSSBの音声が懐かしくなって居た所に今回の企画でしたので、久々にピコを持って『ヤマラン』してきました。 今回、ピコを持って登った山は、『赤城山』です。赤城山は、数多くのピークから成る山でして赤城山というピーク(山頂)はありません。筑波山や榛名山も同様です(もっと言えば富士山も最高点は剣ヶ峰という名前で、富士山というピークはありません。赤城山のピークの中で今までに登った事のない『長七郎山(ちょうしちろうさん)』と『荒山(あらやま)』の2つの山頂でMX-6SでQRVしました。 先に登った『長七郎山』では当局のCQに対して群馬県邑楽郡のJR1HSFが呼んでくれて59(His)-59(My)でQSO出来ました。 次の登った『荒山』ではJA1CRAのCQに対して当局がコールして、QSOが成立しました。RSレポートは、59(His)-51(My)で距離は約112Kmでした。 楽しい企画で山でのQSOが楽しめました。良いリグを作り、QRP運用の楽しさを提供して下さった高田OMに感謝です。
30	チェックログ JA9CZJ	P-7(10MHz改造)/0.6W	10MHz CW:1		参加の条件に違反するので、チェックログとして提出します。使用機器 93-94年ころのハムフェア会場の工作教室で組み立てられたミズホのP-7のちのP-7DXの原型となる7MHzCWトランシーバーを改造して10MHz帯用としたもの。技術基準適合証明を取得したことを高田OMに報告し、喜んでもらった。この事を思いだしつつQSOを行った。

	コールサイン	使用リグ	QSO数	写真	コメント
31	チェックログ JE8IAS	MX-6S/1W	50MHz SSB:0		先日のJA1AMH 追悼QSO WEEKの画像をお送りしたく、添付にてお送りさせていただきます。 札幌市中央区の旭山記念公園にMX-6Sを持って移動し、6mSSB,CWの運用を致しました。 残念ながら交信は0でしたが、広報誌、Webなどで画像を使って頂けないでしょうか。 素晴らしい企画を感謝しております、今年は意識してピコシリーズで運用しようと思っております。
32	チェックログ JE1ECF	MX-6Z/250mW	50MHz SSB:3	 	自宅(屋上・外壁)の防水改修工事に伴いアンテナを撤去中。言い出しつべなのでとりあえず仮設アンテナでQRV。たくさんの参加ありがとうございました。